

解 答 速 報

関西医科大学（前期） 英語

2023年 1月 28日実施

マーク解答

I	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	b	b	a	b	b	b	b	b	b	a
II	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	a	b	a	b	a	a	b	a	b	a
II	21		22	23						
	d	e	c	d						

記述解答

II

24	Resilience means the extent to which we can bounce back from adverse events, cope with stress, or succeed in the face of adversity.			
25	strengths	26	to do something that they enjoy every single day	
27	supportive adults	28	from	
29	prepare you for the next experience that may be more			

III

<p>According to the author, “resilience is a process in which many factors—including family, community and cultural practices—interact”. These factors will undoubtedly have a major impact on the medical profession, so I will look at the importance of resilience in the lives of doctors in terms of community.</p> <p>I have an uncle who is the only doctor in his town. Occasionally, I hear, he faces difficulties in the face of inadequate resources. However, he has never given up his practice because he is aware of his responsibility for the health of the community and the community is aware of his efforts. I think their mutual trust must give him resilience. (112 words)</p>										
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

＜＜ 模試・講座のご案内 ＞＞

受験相談会・後期模試・攻略講座を実施します

※詳細は最終面をご確認ください

<解説>

1 次の文章を読み、それに続く問いに答えよ。

1 [内容一致・不一致] 「1 から 20 に関して、本文に従うと、文が正しいか、間違っているか。正しければ“a”を、間違っていれば“b”を自分の解答用紙にマークせよ」

1 「長期間にわたって、自らの言語が、ネイティブではない訛りで話されているのを聞いていると、それまで話すことができなかった馴染みのない言語を流暢に話せるようになる」

答えは b. 第 1 段落第 2 文に「ネイティブではない訛りにさらされると人の話し方も変わってしまい、時間が経てば新たに生じた訛りは新しい言語になってしまうことがある」とある。新しい言語は、それまで話すことができなかった言語ではないので、この文内容は誤り。

2 「研究によると、ネイティブではない訛りで話すことは、ある種の差別であることを示す証拠が増えてきている」

答えは b. 第 2 段落第 1 文後半に「馴染みのない訛りは差別されることを示す証拠が増えてきている」とあり、ネイティブではない訛りは差別そのものではなく、差別される対象であるため、この文内容は誤りである。

3 「第一言語ではない言語で雇用に応募する志願者は、雇用される可能性が低いことを示す証拠が最近の研究によって見つかった」

答えは a. 第 2 段落第 2 文前半に合致する。そのおよその意味は「過去数年にわたる研究では、ネイティブではない訛りで話す人は仕事に就きにくいことが示されている」である。

4 「外国語訛りで話をする人は誠実さに欠ける傾向があることを、最近の研究は事実に基づいて示している」

答えは b. 第 2 段落第 2 文後半に「(過去数年にわたる研究では、ネイティブではない訛りで話す人は) 教養がなく信用度が低いとみなされる (ことが示されている)」とあり、この文内容は誤りである。

5 「海外で働くかなり多くの人には言語スキルが乏しいために深刻なトラブルを引き起こしている」

答えは b. 第 3 段落に「およそ 2 億 5700 万人の人が母国以外の国で生活し、働いているが、この訛りに関連した偏見は主要な問題である」とあり、言語スキルが乏しいために生じるのは偏見であるので、この文内容は誤りである。

6 「ネイティブではない話者に仕事場で偏見を抱いている人は頭が悪いとみなされており信用できない」

答えは b. 第 4 段落第 2, 3 文に「仕事において、また犯罪事件において、人々は耳慣れない訛りで人を判断する。人々は彼らを頭が悪く信用できないと思っている」とあり、信用されていないのは偏見を抱いている人ではなく、偏見を抱かれている人である。よってこの文内容は誤りである。

7 「フーカー教授の推測によれば、外国語訛りの話者に対する差別が起こる理由としてありうるのは、私たちの脳は外国語訛りを聞くと不活性化することである」

答えは b. 第 6 段落第 2 文に「脳の活動がより活発になることが語彙や意味情報を処理するのが難しいことを示している」とあり、この文内容は誤りである。

8 「フーカー教授が調査したのは、人々がフランドル語、イタリア語、アメリカ英語、ドイツ語、チェコ語を話しているのを聞くと、フランドル語を話す被験者たちの脳がどれほど活性化しているのかであった」

答えは b. 第 7 段落第 1 文に「フーカー教授が研究したのは～フランドル語を母語とする被験者が、地元の人たち、イタリア人、アメリカ人、ドイツ人、チェコ人がフランドル語を話すのを聞いたときの脳の活動である」とあり、この文内容は誤りである。

- 9 「フーカー教授が行った調査において、フランドル語を母語とする被験者たちは、フランドル語を話す外国人は、フランドル語を母語とする人たちに比べ、自分たちに好意的でなく、親切ではないと回答した」

答えは b. 第 8 段落第 3 文に「しかしフランドル語を母語とする被験者たちが、フランドル語を話す外国人たちがどれほど自分たちに好意的で親切であると思うかについて違いは全くなかった」とあり、この文内容は誤りである。

- 10 「外国人が自分の母語で話し、母語として話す人に自分の言葉を翻訳させる方が、自ら外国語を話すよりも良いかどうかはいまだ研究中である」

答えは a. 第 10 段落第 1 文前半の内容に合致する。そのおよその意味は「我々はいまだこの結果を分析している最中である」である。ここでいう this とは第 9 段落第 1 文に書かれた実験の内容を指す。そのおよその意味は「最後の実験において、外国人が自らフランドル語で話す場合と比べるために、彼女はまたフランドル語を母語として話す人に外国人の話者が話していることを翻訳させた」である。

- 11 「彼女の研究結果次第では、フーカー博士は、政治、ビジネス、刑事訴訟に関わっている外国人に、通訳を介して話すように助言するかもしれない」

答えは a. 第 10 段落に合致する。そのおよその意味は「『この実験の結果はまだ分析中ですが、実社会で重要な意味を持つかもしれません』と彼女は言った。もしこの結果が、情報処理の仕方に違いがあることを示すなら、例えば、外国語訛りで話すよりもネイティブの通訳を使った方が良いということとなるなら、政治家や企業、外国人の被告人や証人が関与する刑事訴訟への新たな忠告をもたらす可能性がある」である。

- 12 「耳慣れない訛りに対する否定的な感じ方は、どれほど時間が経とうとも決して消えることはない」

答えは b. 第 12 段落第 1 文に「『ひとつわかっているのは、最終的には私たちは訛りに慣れて、バイアスも軽減される可能性があるということです』」とあり、この文内容は誤りである。

- 13 「もし他の国に移住したなら、あなたの訛りが新しい環境によって影響されるだけでなく、あなたの新たな隣人たちの訛りもまた、あなたの訛りに影響を受ける可能性がある」

答えは a. 第 13 段落第 1 文に合致する。その 1 文のおよその意味は「外国人が新しい国に移住する場合、自身の周囲で耳にする訛りの要素を吸収しながら、時間の経過とともに話し方が徐々に変化してくだらう。しかし、彼らもまた新しい隣人の訛りに影響を及ぼす可能性がある」である。

- 14 「およそ 1000 年前には、古い英語、オランダ語、スウェーデン語の話者はそれぞれの言語で互いに意思疎通をすることができたが、そのことがしめすのはこれらの方言の話者が高い知性を持っていたということである」

答えは b. 第 15 段落第 2 文に「『例えば、およそ 1000 年前、英語、オランダ語、スウェーデン語は、実際には理解可能な方言で、それを話す人たちは互いの言うことを理解することができたのです』とあるが、設問に述べられた「高い知性を持っていた」という事実は本文では述べられていない。よって、この文内容は誤りである。

- 15 「ハリントン教授と彼のプロジェクトチームは、子供たちの発話録音を用いて、言語がどのように枝分かれしていくのかに関するデジタル・シミュレーションを作り出すことを目指している」

答えは a. 第 17 段落第 1 文に合致する。その 1 文のおよその意味は「ハリントン教授と InterAccent チームは、現実世界での観測データを使って、訛り、さらにはまた言語がどのように生まれるかについての計算機モデルを構築しようとしている」である。「現実世界での観測データ」が、子供たちの発話録音であることは、同段落第 2 文で明示されている。

- 16 「子どもたちは、大人たちよりも、自分の周りで耳にする訛りに影響を受けやすい」

答えは a. 第 18 段落第 2 文に合致する。その 1 文のおよその意味は「『そして、子どもたちは大人よりも、発話の経験や記憶が少ないので、自身の訛りをはるかに素早く変化させるのです』である。

- 17 「学校は子どもたちが共通の訛りを身につけるのを確実なものとするために、4 年間にわたって彼らを同じ集団に留めておくといった新たな取り組みを導入している」

答えは b. 第 17 段落第 2 文には 4 年間にわたる研究が紹介されている。その 1 文のおよその意味は「どのようにしてこうしたことが起こるのかに関する理解を得る助けとなる研究の一つは、ドイツに 2 校、アルバニアに 2 校、計 4 校で、年に 2 回、4 年間にわたり子どもたちの様子を記録するものである」である。学校が新たな取り組みを導入しているわけではない。よってこの文内容は誤りである。

- 18 「ハリントン教授のチームは、冬の間、南極地域の科学研究ステーションで、さまざまな国の人々が外の世界と隔絶された状態で、共に働き、生活を送る際の発話を調査することを計画している」

答えは a. 第 20 段落第 1 文に合致する。その 1 文のおよその意味は「InterAccent チームが調査対象とする予定のもう一つの集団は、厳冬期に外の世界とは隔離された状態で数カ月間一緒に南極で過ごす科学者と支援要員からなる国際チームとなるだろう」である。

- 19 「南極大陸は、訛りの変化についての理想的な研究環境となる。それは個々人の訛りを、他の訛りの種類に一切曝されることなく研究することができるからだ」

答えは b. 第 20 段落最終文に「世界の様々な地域から集まった人々が閉ざされた、狭い空間で生活しているため、その環境はどのようにしてそれぞれの個々人の訛りが互いに影響し合い、時間の経過とともにまったく新しい訛りが生まれる可能性があるのかを分析するのに最適な場所なのです」とあり、この文内容は誤りである。

- 20 「ハリントン教授は、彼の研究による調査結果は現在の言語変異が生じてきたメカニズムを明らかにするだけでなく、この先それらがさらにどのようにして発展していくかについてのいくつかの手がかりを与えてくれるかもしれないと述べている」

答えは a. 最終段落の内容に合致する。そのおよその意味は「ハリントン教授は、『その研究は、ヨーロッパに存在する非常に多様な訛りがどのように発展してきたかについて、多くのことを教えてくれるでしょう』と付け加えた。『それはまた、旅行や国際的な移動がこれほど一般的になった世界で、私たちの訛りがどのように変化することになるのかを知る手がかりを与えてくれるかもしれません』である。

- II 次の文章を読み、それに続く問いに答えよ。

- 21 [内容不一致] 「本文に従い、以下の選択肢から正しくない2つの文を選び、自分の解答用紙にマークせよ」

- a. 「人が持っている回復力の量は、生まれた時点で決まっておらず、時間をかけて発達する」

正しい。第 3 段落第 1 文に「人は生まれつき回復力を持っているのではない」とある。また、第 5 段落第 1 文に、「研究者たちは、人々が回復力を高めるのに役立つのは何かということを研究している」とある。これらの内容から、回復力は高めていくことができるものであることもわかる。

- b. 「回復力とは、ストレスを除去することだけではなく、多様な防御因子を通してストレスに対処することとも意味する」

正しい。第 8 段落第 1, 2 文に合致する。それらのおよその意味は「しかし、回復力はストレスをなくすことだけに限るものではない。それはまた自分の強みを生かすことでもある」である。

- c. 「回復力を高めるために、自分の感情を抑えるのではなく外に出すほうがよい」

正しい。第 11 段落第 1 文に、ストレスを取り除くための「他の道具は、感情を抑え込むよりは外に出すといった、感情にかかわるものである」とある。

- d. 「回復力は、自分のことを気遣うよりも、他人の幸福の利他的な配慮によって、高めることができる」

正しくない。第 13 段落第 1 文と第 2 文に、「自分の必要を満たすことも効果がある。私たちは、他人の世話をしようとするのにとても忙しいことが多く、十分なセルフケアをしていない」とある。この段落は、第 9 段落から続く、ストレスを取り除くための方策の紹介であり、ストレスからの回復力を高める方策といってもよい。これらの内容から、この文内容は誤りである。

- e. 「ストレスがともなう出来事を乗り越えたあとに、それに関するすべてのことを忘れることによって回復力を高めることができる」

正しくない。最終段落第 1 文と第 2 文に「バージュマン曰く、ある点では習うより慣れよ、である。うまくいっているときに助けになると感じたことを覚えておきなさい」とある。選択肢は反対の内容であり、この文内容は誤りである。

- 22 [不適語選択] 「下線部 ①, ②, ③, ④, ⑤ の語句は全て、1 つを除いて類似した意味をもつ。他の 4 つに類似した意味をもたない選択肢を自分の解答用紙にマークせよ」

答えは c. 下線部 C を含む 1 文の意味は「他の手段は、感情を抑え込むというよりも表に出すというように感情にかかわるものである」とある。他の選択肢はそれぞれ A「から引き出す」B「を利用する」、D「を使う」、E「を利用する」であり、C が答えだとわかる。

- 23 [下線部意味選択] 「下線部 ⑥ の表現で筆者が意図した内容は何か。次の選択肢の中から最も適切な意味を選び、自分の解答用紙にマークせよ」

答えは d. 下線部 F を含む一文のおよその意味は「回復力は真空状態で生じるものではない、という理解が研究者たちの間でますます広がっている」である。続く第 16 段落の第 1 文で「ある人に回復力があるということはその人の周囲の援助に関連している」と書かれており、ここでいう「真空状態」が他者からの援助の得られない状態を意味することがわかる。

- 24 [単語定義] 「本文によると、*resilience* の定義は何か。その定義を本文中の表現を用いて、25 語以内の英語で解答用紙に記せ」

答えは Resilience means the extent to which we can bounce back from adverse events, cope with stress, or succeed in the face of adversity. 第二段落に「*resilience* とはどの程度逆境から立ち直ったり、ストレスに対処できたり、逆境に直面しながらも成功することができるかである」と、*resilience* とは何かが書かれている。

- 25 [指示語抜粋] 「下線部 ⑦ の代名詞は何を指しているか。同段落から最も適切な語を見つけ、その語を自分の解答用紙に記せ」

答えは “strengths”。 “Your strengths include those of your neighborhood and community.” 「人の強さは隣人やコミュニティのそれらを含んでいる」における *those* は、繰り返しを避ける *that* の用法である。

- 26 [指示語抜粋] 「下線部 ②の代名詞は何を指しているか。同段落から最も適切な語句を見つけ、その語句を自分の解答用紙に記せ」

答えは“to do something that they enjoy every single day”。直前の文に“I encourage people to do something that they enjoy every single day.”「私は人々に楽しいことを毎日するように勧めている」とあるが、直後に“Many people feel guilty about that.”「多くの人はそのことに罪悪感を抱いている」と続く。この二文から、筆者の意見と多くの人の感じ方の対比に気付くとよい。

- 27 [語句置換] 「下線部 ③に置き換えられる最も適した2単語の語句を、それ続く段落から見つけ、自分の解答用紙にその語句を記せ」

解答は“supportive adults”。“A child can be resilient because they have these resilience-promoting people around them”「子供はこのような回復を促す人々が周りにいることで、立ち直りが早くなる」とあるが、その前文には“when adults in the community work together to support and monitor neighborhood children, ~”「コミュニティ内の大人が一緒になって近くの子供をサポートし気にかけていれば、~」とあるため、“these resilience-promoting people”は「子供をサポートし気にかけている大人」とであると分かる。そのことを踏まえて、それに続く段落から探せばよい。次段落冒頭にあり、すぐに見つけられる。

- 28 [空所補充] 「同じ英単語を用いて空所【X】、【Y】、【Z】を埋め、その単語を自分の解答用紙に記せ」

答えは“from”。【X】は<protect A from B>「AをBから守る」、【Y】は<come from ~>「~から生じる」、【Z】は<differs from ~>「~と異なる」。

- 29 [文中語句整序] 「〔★〕内の語を適切な順に並び替えて、自分の解答用紙に正しい順でその10語を記せ」

〔★〕：“(That can) prepare you for the next experience that may be more (difficult),”

<prepare A for B> 「AにBへの覚悟をさせる」というフレーズを意識する。またカッコ外の“difficult”を考慮すれば“more”の位置を決定できる。次に、前段落の「ストレスを感じた時に役に立ったと感じたものに注意を払いなさい」という内容から、それは“the next experience that may be more difficult”「もっと困難になりうる次の体験」のためと考えればよい。

III

- 30 [自由英作文] 「医師の生活における回復力の重要性」
「大問IIの文章を読んで、自分の解答用紙に100語程度の英語であなたの意見を表現せよ」

【解答例1】

According to the author, “resilience is a process in which many factors—including family, community and cultural practices—interact”. These factors will undoubtedly have a major impact on the medical profession, so I will look at the importance of resilience in the lives of doctors in terms of community.

I have an uncle who is the only doctor in his town. Occasionally, I hear, he faces difficulties in the face of inadequate resources. However, he has never given up his practice because he is aware of his responsibility for the health of the community and the community is aware of his efforts. I think their mutual trust must give him resilience. (112 words)

【解答例 2】

Doctors need to develop resilience because they are likely to face stressful situations. They are often so busy taking care of their patients that they can become overworked and burnt out, because such stressful situations can't be easily changed by one person. To prevent this, they should develop a collaborative relationship with the human resources around them, such as fellow doctors, nurses and carers, and always try to communicate with them. This will enable them to work as a team rather than alone, which, in turn, will make them more resilient. (91 words)

【解答例 3】

As the author of this passage says, people go through hard times in life. Doctors in particular sometimes have many more. Being a doctor means that they have to make a difference to the lives of their patients, and there is a lot of stress involved. Sometimes they can start from the bottom, under enormous pressure. That's why resilience is important: it can protect them from burnout, even under adverse conditions. It increases their well-being and allows them to achieve their goals without losing sight of the original vision they had when they became doctors. (95 words)

講評

- I [長文] (標準) 「外国語訛りがもたらす影響」に関する英文。文章内容、各設問とも標準的だが、設問の一部には慎重に内容を確認すべきものも含まれる。
- II [長文] (標準) 「回復力の重要性」に関する英文。記述問題も含まれるが、本文の表現をもとに解答するものであり、さほど苦労しない。
- III [自由英作文] (やや難) 大問IIの長文をもとに、「医師にとっての回復力の重要性」について100字程度で論じる問題。自分なりの考えを正確な英語でまとめられるかが問われている。

解答用紙にマークシートが導入されたことで、大幅に大問構成が変わった。2題の長文はいずれも取り組みやすいが、形式の変更に戸惑った受験生も多いだろう。目標は65%

メルマガ無料登録で全教科配信！ 本解答速報の内容に関するお問合せは… メビオ ☎0120-146-156 まで

 医学部進学予備校 ☎0120-146-156 https://www.mebio.co.jp/	 医学部専門予備校 YMS heart of medicine ☎03-3370-0410 https://yms.ne.jp/	 医学部専門予備校 英進館メビオ 福岡校 ☎0120-192-215 https://www.mebio-eishinkan.com/	 登録はこちらから
--	--	---	---

医学部受験相談会

医学部受験の悩みを講師が
回答します（予約優先）

東京	2.1 (水)	9:00 ~ 12:00 ビジョンセンター西新宿
金沢	1.30 (月)・31 (火)	9:00 ~ 12:00 ANA クラウンプラザ金沢
名古屋	2.5 (日)	11:00 ~ 16:00 オフィスパーク名駅プレミア会議室
大阪	1.30 (月)・31 (火)	9:00 ~ 12:00 ホテルフクラシア大阪ベイ
福岡	2.2 (木)	9:00 ~ 12:00 TKPガーデンシティPREMIUM天神スカイホール
久留米	2.1 (水)	9:00 ~ 12:00 久留米ホテルエスプリ

関西医科大学 後期模試

大阪・福岡会場 2.22 (水) 9:30 ~ 16:05
エル・おおさか 英進館メビオ校舎

関西医科大学後期攻略講座

大阪会場 2.20 (月)・3.2 (木) 9:30 ~ 17:15
医学部進学予備校 メビオ校舎

近畿大学医学部後期攻略講座

大阪会場 2.18 (土)・23 (木) 9:30 ~ 17:15
医学部進学予備校 メビオ校舎

詳しくは Web またはお電話で